



特許 第1438822号



SG安全基準

赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

ハイローベッド&チェア

ソノバ de ターン サーモ FM オート 電動 バイオメディカルスウィング

取扱説明書／保証書

室内用の新生児から48月まで体重18kg以下のお子さま1人用簡易なベッド、兼用チェアです。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。
また、お読みになった後は、**本書は必ず保管してください。**

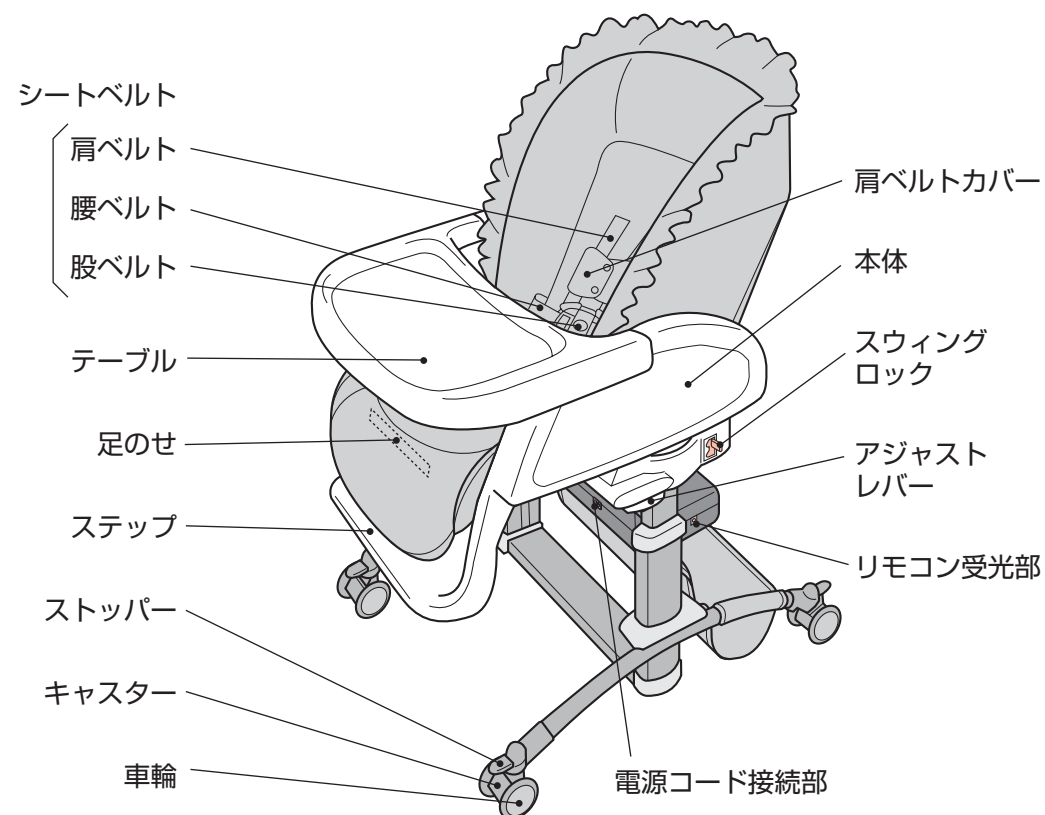
もくじ

各部の名称	1～2	ご使用上の注意	20～21
本体と付属品の名称	1～2	警告	20
ご使用上の注意	3～8	注意	21
使用条件	3	禁止事項	21
連続使用時間について	3	電動スウィング及びメロディ機能を使う時	22
表示内容について	4	電気仕様	22
警告	4～7	電動スウィングの使い方	22～23
注意	8	メロディ機能の使い方	24
禁止事項	8	リモコンの使い方	24～25
ご使用前の点検	9	故障かなと思ったら	25
操作方法	10～14	日常のお手入れ	26～29
ストッパーの使い方	10	シートの取り外し方	26
リクライニングの方法	10	股ベルトの取り付け、取り外し方	27
高さ調節の方法	11	腰ベルトの取り付け、取り外し方	27
足のせの使い方	11	カゴの取り外し方	28
ベンチレーションの使い方	11	縫製品のお手入れ方法	28
足カバーの使い方	12	カゴのお手入れ方法	28
テーブルの使い方	13	本体のお手入れ方法	28
カゴの使い方	14	フレームのお手入れ方法	29
お子さまを乗せる前に	15～16	車輪のお手入れ方法	29
肩ベルト位置の調節方法	15	保証とアフターサービスについて	29
肩ベルトの収納方法	15	当社連絡先	29
フルマモールの取り付け方	16	保管のしかた	29
お子さまを乗せる時	17～18	廃棄方法	30
お子さまの乗せ方	17～18	SGマークについて	30
手動スウィングを使う時	19	保証書	裏表紙
手動スウィングの使い方	19		

各部の名称

- ・取り外してある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

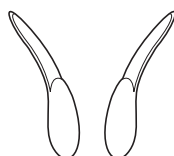
本体と付属品の名称



フルマモール〈採用機種のみ〉



脳・頸椎マモール



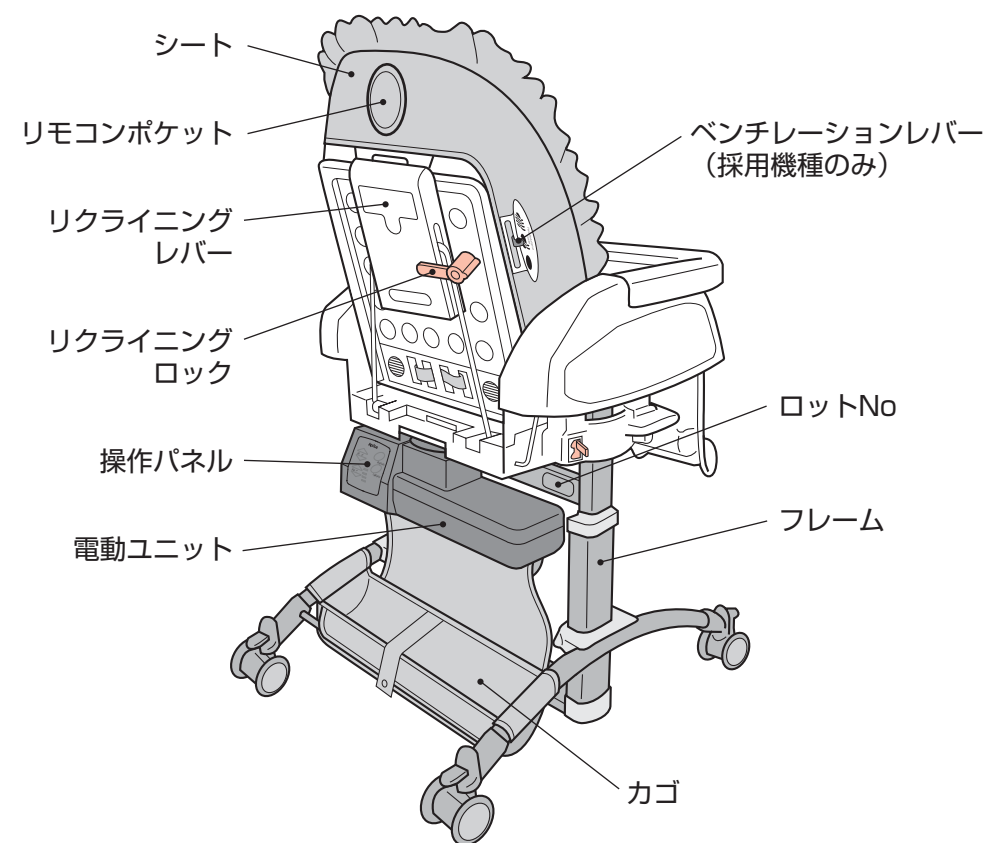
腰クッション



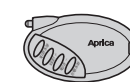
ベルトパッド

おなかマモール

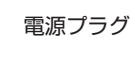
- ・本製品の取扱説明書や警告文での『簡易なベッド』とは、寝返りが出来るベッドの大きさを有さない製品を表しています。
- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため、現物とは多少異なることがあります。



〈付属品〉



リモコン



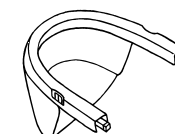
電源プラグ



電源コード



コネクター



足カバー
〈採用機種のみ〉



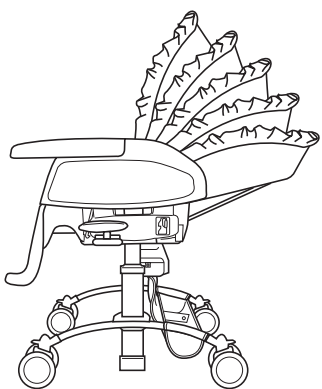
取扱説明書
(本書)

- ・リモコン用単4乾電池(2本)は付属しておりませんので、別途ご購入ください。

ご使用上の注意

使用条件

- ・お子さまの発育に合わせて使用してください。
- ・月齢の表示は目安ですので、お子さまの発育により個人差があります。
- ・表中の○は使用可能、×は使用不可能を示しています。

発育状態の目安 (月齢の目安)		新生児～首がすわるまで (2・3月頃)	首がすわってから～ひとり 座りができるまで(7月頃)	ひとり座りが出来る～ 18kg以下(7月～48月)
参考体重		2.5kg～7kg	7kg～9kg (電動スウィングは8kgまで)	9kg～18kg
電動・手動 スウィング		○	○	×
安全ヘルト	肩ベルト	必ず使用	・座高46cm(参考月齢18月)まで使用し以後は 使用不可。(収納する)	
	腰・股ベルト	必ず使用	必ず使用	36月頃まで必ず使用
テーブル		○	○	○
リクライニング		①	①② (電動スウィングは②のみ)	③
		 チェアでの使用ポジション 最上段～下に3段 スウィングポジション 最下段～上に1段		

連続使用時間について

- ・お子さまが使用する時間は、1回30分から1時間が適当です。(繰り返しスウィング時間の目安は15分間でそれ以上のスウィングはさけてください。) 1日の使用時間は合計2～3時間が望ましい。

表示内容について

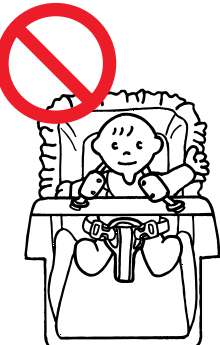
- ・「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
 禁止	絶対してはいけない内容です。

警 告

- ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 **警告**



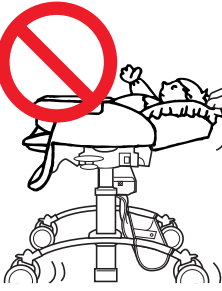
お子さまが座高46cm(参考月齢18月)未満の時は、肩ベルト、肩ベルトカバーを外して使用しない。



体重18kg、(参考月齢48月)を超えるお子さまに使用しない。



腰ベルト、股ベルトを外して使用しない。



お子さまを乗せたまま移動させない。
はずみをつけたり、つき放したりしない。

お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。

お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。

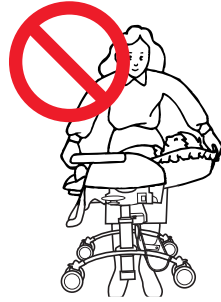
(次ページに続く)

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

警告



車輪、キャスターは平らな床面上で簡易な移動や向きを変えたりするためのものです。そのため、傾斜や段差のあるところで移動および使用しない。



お子さまを乗せたまま持ち上げない。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



スウィングポジション以外でスウィングしない。

スウィングさせる時以外、スウィングロックを解除しない。



お子さまを乗せたまま一人で放置しない。

テーブルなどの間に手足などを挟み、けがをするおそれがあります。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



お子さまを乗せたまま高さ調節をしない。



ストーブなどの危険物の近くで使用しない。

思わぬ危険をまねくおそれがあります。



スウィングは保護者が行い、必ず付き添っていること。また繰り返しスウィング時間の目安は、15分間であり、それ以上のスウィングは避けること。



お子さまに衝撃が加わるほど強くスウィングさせない。

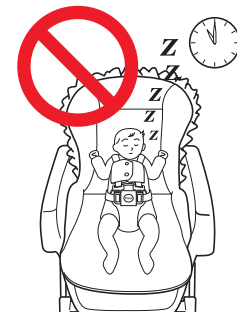
思わぬ危険をまねくおそれがあります。

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

警告



お子さまの首や腰が安定していない場合は、背もたれを起こさない。



一時的なお昼寝などには使用できますが、夜間就寝用など長時間のベッドとして使用しない。

思わぬ危険をまねくおそれがあります。



お子さま一人で乗り降りさせない。



お子さまが手を掛けたり、よじ登ったりなど、外から力を加えない。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



お子さまを座席や背もたれ、足カバー、ステップなどに立たせない。

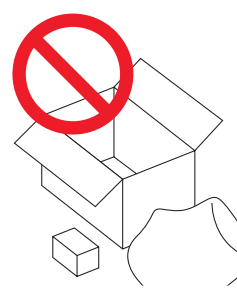


二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



お子さまの身体をテーブルや足カバー、手すりから乗り出させない。



製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。

思わぬ危険をまねくおそれがあります。

(前ページからの続き)

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

警告

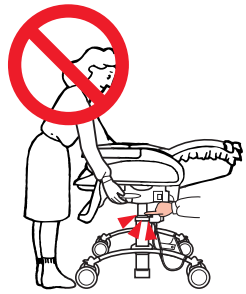


リクライニング操作時は背もたれ、座面などで手、指などを挟まないように注意してください。

手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。



スウィング中は本体などで手、指などを挟まないように注意してください。

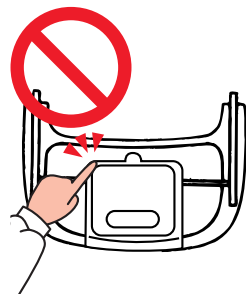


高さ調節をする時は脚などで手、指などを挟まないように注意してください。

手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。



移動時は車輪、キャスターの回転部などで手、指などを挟まないように注意してください。



テーブルレバーを引いた時に手、指などを挟まないように注意してください。

手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。



足のせを押し込む時に手、指などを挟まないように注意してください。



足のせの下面で手、指などを挟まないように注意してください。

手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

注意

- ・ネジやナット類が緩んでいないこと。
- ・ストッパーをロックしていても、お子さまが乗っている時は目を離さない。構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。
- ・簡易なベッド状態は新生児からお座りができる（参考月齢7月）まで以外のお子さまに使用しない。
- ・チェア状態は腰がすわってから（お座りができる）48月（体重18kg以下）以外のお子さまに使用しない。
- ・股ベルトの出しろは必ず5cm以上残す。
- ・腰ベルトの出しろは必ず3cm以上残す。
- ・お子さまを乗せた時、前輪や後輪を持ち上げて移動しない。
- ・高さ調節やリクライニング操作、移動、テーブルの脱着などは必ず保護者がおこない、お子さまにさせない。
- ・高さ調節時、リクライニング操作時は、お子さまを廻りに近づけない。
- ・シートを外した状態では、お子さまを乗せない。
- ・火の近くに放置しない。
- ・その他、故障の原因となるようなことはしない。

禁止事項

・次のようなことは絶対にしないでください。

禁止

- ・当社サービス員以外の分解・組立・改造。
- ・ネジ、ナットなどを外しての使用。
- ・シートを外した状態の使用。
- ・荷物などの運搬のための使用。
- ・落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後の使用。
- ・お子さまの遊び道具としての使用。
- ・保護者、介護者などが寄り掛かったり、椅子など腰掛けとしての使用。
- ・踏み台としての使用。
- ・車輪の中での使用。
- ・屋外で使用。
- ・屋外に放置し雨などにさらした後の使用。
- ・その他、お子さまを乗せる以外の目的での使用。

ご使用前の点検

・使用前には必ず各部を点検してください。

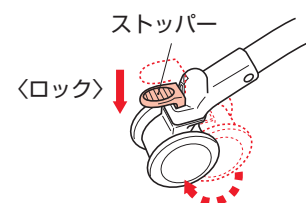
〈ネジ〉

使用前には、必ずハイローベッド&チェアのネジの緩みのないことをドライバーなどで確認してください。



〈ストッパー〉

ストッパーをかけてハイローベッド&チェアが動かないことを確認してください。

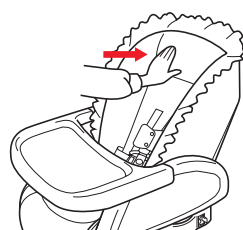


⚠ 注意

・構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。

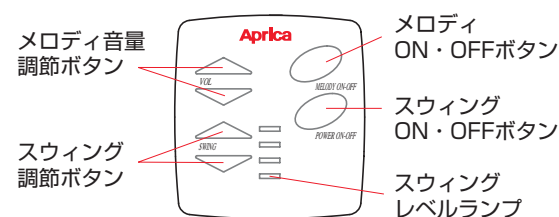
〈リクライニング〉

使用前にはシートの背もたれ部分を押さえて異常のないことを確かめてください。



〈電動スウィング、メロディについて〉

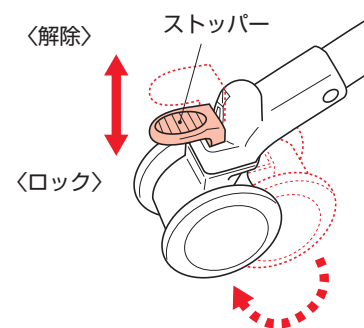
各ボタンを押して正常に作動するか確認してください。



万一、破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず当社サービス員の点検、修理を受けてください。

操作方法

ストッパーの使い方



・ストッパーは、車輪の方向転換と走行を同時にロックや解除することができます。

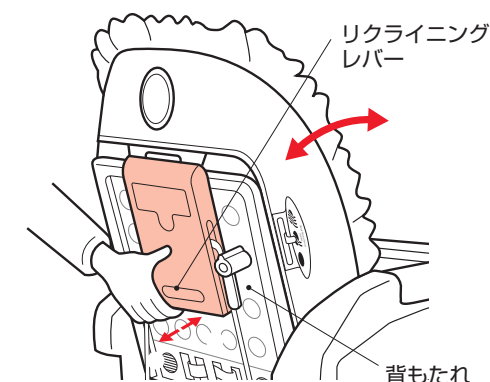
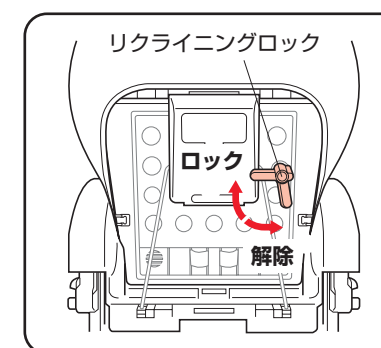
⚠ 警告

・移動時は車輪、キャスターの回転部などで手、指などを挟まないように注意してください。

⚠ 注意

・移動させる時以外は、必ず4輪ともストッパーをかけて、ご使用ください。

リクライニングの方法



リクライニングロックを縦位置にしてロックを解除します。
リクライニングレバーを手前に引いて背もたれの角度を変えます。
お使いになる角度で、リクライニングレバーを戻します。
リクライニングロックを横位置にしてロックします。

・リクライニングの角度を変えるとシートベルトのしまり具合が変わりますので、必ず股ベルトと腰ベルトの長さを調節しなおしてください。

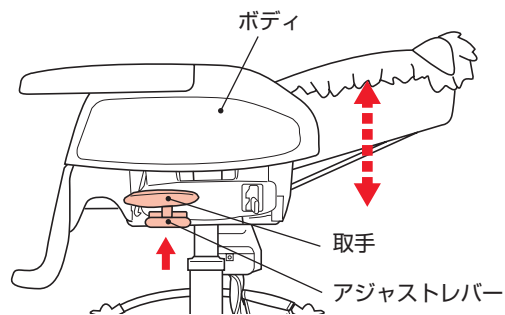
⚠ 警告

・リクライニング操作時は背もたれ、座面などで手、指などを挟まないように注意してください。

⚠ 注意

・リクライニング操作時以外は、必ずリクライニングロックをロックしてください。

高さ調節の方法



左右の取手とアジャストレバーをにぎったまま、ボディを上下させます。

お使いになる位置でアジャストレバーを離し、ロックしたことを確認してください。

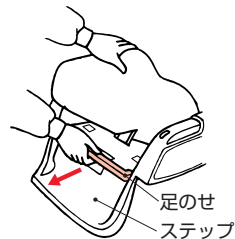
⚠ 警告

- ・お子さまを乗せたままで高さ調節をしない。
- ・高さ調節をする時は脚などで手、指などを挟まないように注意してください。

足のせの使い方

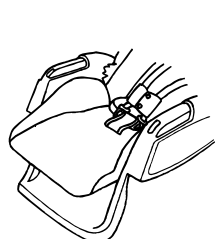
・背もたれを水平に近い角度にするときなど、足のせは座席の延長としてお使いください。

〈引き出し方〉

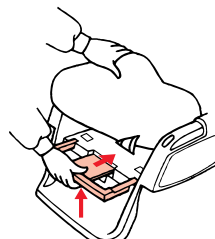


①シートの下にある足のせを前方に引き出します。

〈戻し方〉



②座席の延長としてお使いください。



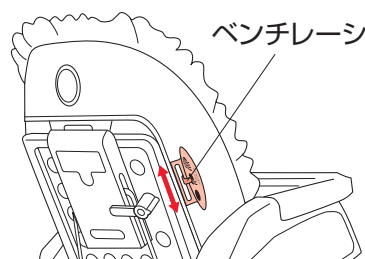
③足のせの真ん中の部分を下から手で押し上げたまま足のせを座席に押し込んでください。

⚠ 警告

- ・足のせを押し込む時に手、指などを挟まないように注意してください。

ベンチレーションの使い方 〈採用機種のみ〉

・ベンチレーションとは、お子さまの背中とシートとの間の温度を快適な状態にするために通気を調節するシステムです。



ベンチレーションレバー

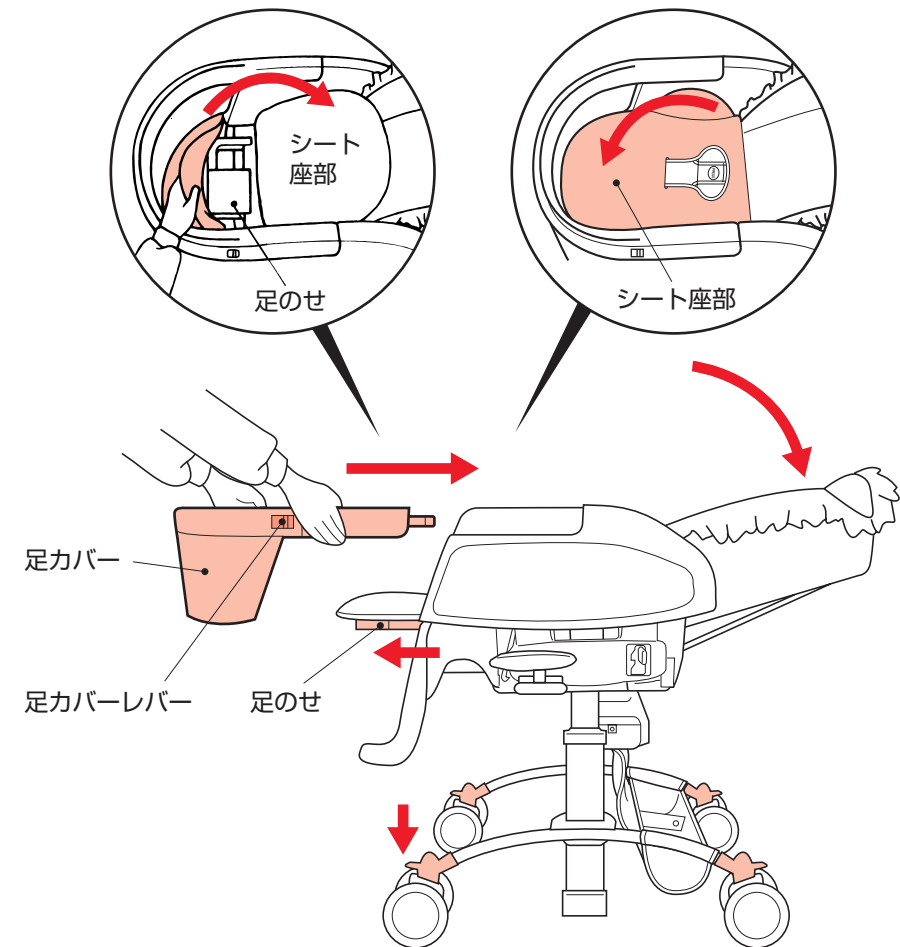


〈全開〉 〈半開〉 〈閉〉

●ベンチレーションレバーを〈全開〉〈半開〉〈閉〉に切り替えて通気を調節してください。

足力バーの使い方 〈採用機種のみ〉

・腰が安定したお子さま（約6月以上）には使用しないでください。



4輪ともストッパーをロックします。

背もたれを寝かせてスウィングポジションにします。

足のせを引き出します。

足力バーの左右のパイプを本体の取り付け穴に差し込みます。

シートの座部を持ち上げて、足力バー底部を足のせの上に取付けます。

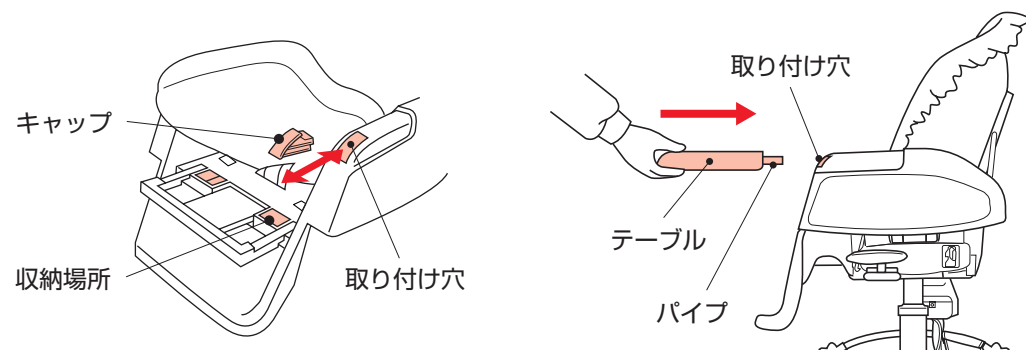
シートの座部を足力バー底部にかぶせます。

⚠ 注意

- ・足力バーを使用する時は、必ず足のせを引き出してください。

・取り外す時は、左右の足力バーレバーを手前に引いた状態で、足力バーを水平に抜き取ります。

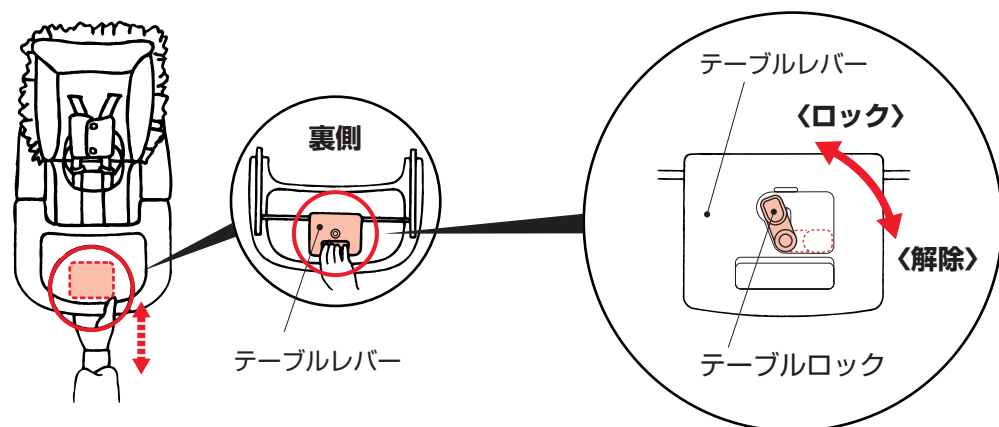
テーブルの使い方



本体左右のキャップを取り外し、
収納場所に保管します。

テーブル左右のパイプを、本体の
取り付け穴に差し込みます。

- ・ テーブルを使用しない時は、キャップを取り付けてください。



テーブルレバーを引いて、お子さま
に適切な位置で固定します。

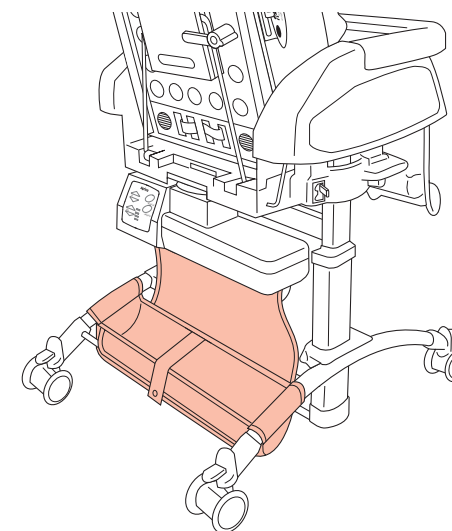
テーブルロックを縦位置にして
ロックします。

△ 警告 ・ テーブルレバーを引いた時に手、指などを挟まないように注意してください。

△ 注意 ・ テーブルを本体に取り付けてお使いになるときは、必ずテーブルロックを縦位置
にしてロックしてください。

カゴの使い方

- ・ カゴにはハンドタオル、紙おむつ、おしりふきなどを入れておくと便利です。



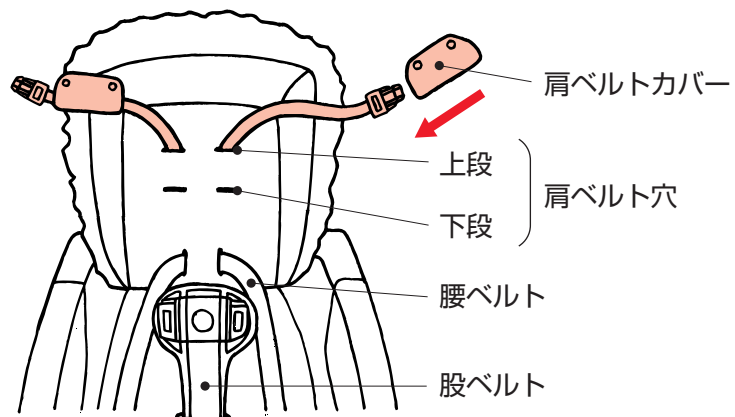
△ 注意

- ・ あまり重いものをのせない。カゴが破損するおそれがあります。
- ・ 足で踏まない。車体の転倒、破損などのおそれがあります。
- ・ カゴを持って本体を持ち上げない。カゴが外れ車体が落下するなどの危険があります。

お子さまを乗せる前に

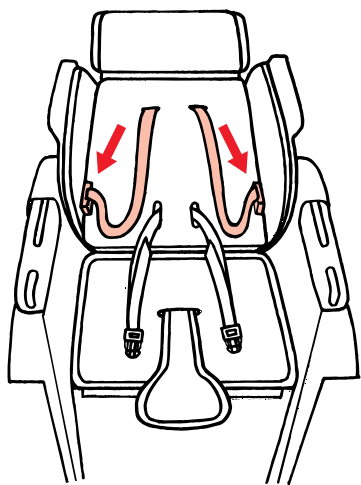
肩ベルト位置の調節方法

- ・肩ベルトの長さ調節は、お子さまの成長に合わせて股ベルトで調節してください。
- ・座高46cm以上（約18月以上）のお子さまには使用しない。



月齢(体格)の目安	肩ベルト穴の位置
2月頃まで	下段
3月頃から	上段
座高460mm (参考月齢18月)以上	収納

肩ベルトの収納方法



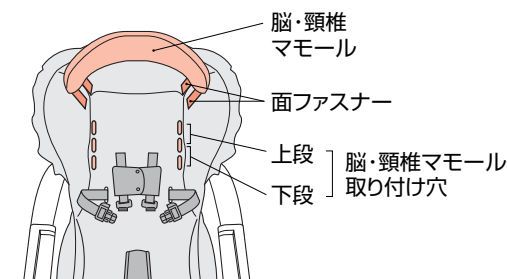
- ・座高46cm以上のお子さまには、
肩ベルトカバーを外します。
シートを外します。
肩ベルトを収納します。
- ・腰ベルトと股ベルトを通して
シートを取り付けてください。

フルマモールの取り付け方〈採用機種のみ〉

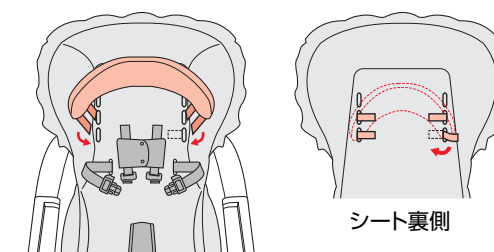
〈脳・頸椎マモールの取り付け方〉

- ・脳・頸椎マモールはおなかマモールと合わせてご使用いただけます。
- ・脳・頸椎マモールはベッド状態以外ではご使用できません。
- ・脳・頸椎マモールは、お子さまの首が安定した時や、お子さまが嫌がった時、お子さまの体格に合わなくなった時は取り外してください。

月齢の目安	取り付け穴の位置
2月頃まで	下 段
3月頃から	上 段

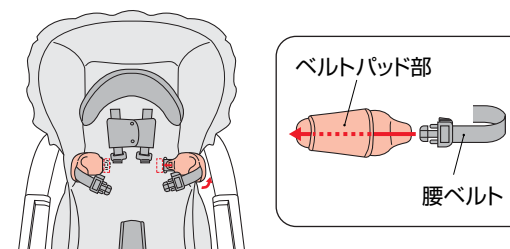


お子さまの月齢を目安にして、脳・頸椎マモール取り付け穴を選びます。
(左右各2カ所)

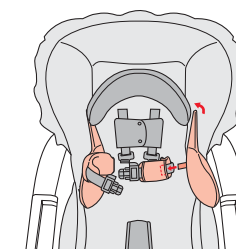


脳・頸椎マモールの面ファスナーをそれぞれ左右の取り付け穴に通し、シート裏側で固定します。

〈おなかマモールの取り付け方〉



ベルトパッド部に腰ベルトを通し、面ファスナーをシートの腰ベルト取り付け穴の裏側で固定します。



腰クッションの面ファスナーをベルトパッドの内側でとめ、先端（薄い方）を脳・頸椎マモールとシートの間に挟みます。

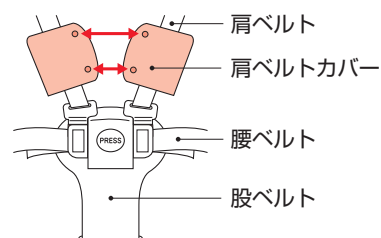
- ・脳・頸椎マモールをご使用にならない時も、同じ手順で取り付けてください。
(腰クッションの先端は、そのままにしておいてください。)

お子さまを乗せる時

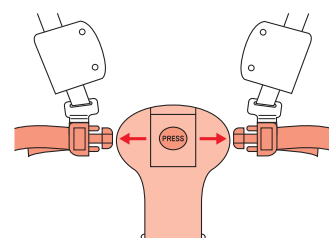
お子さまの乗せ方

- ・お子さまが簡易ベッド状態でご使用になる時間は、1回あたり30分～1時間が適当です。1日あたりの合計では2～3時間が望ましい。

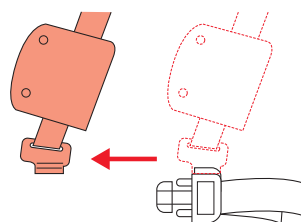
腰ベルトの外し方



左右の肩ベルトカバーのホックを外します。

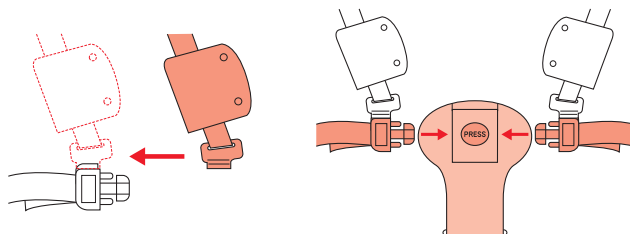


股ベルトの「PRESS」部を押して腰ベルトを外します。

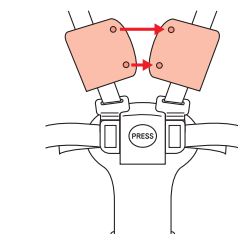
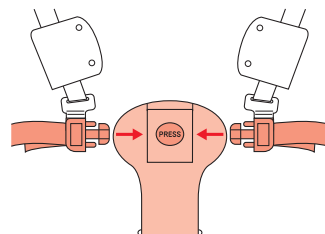


腰ベルトから肩ベルトを外します。

腰ベルトの装着方法

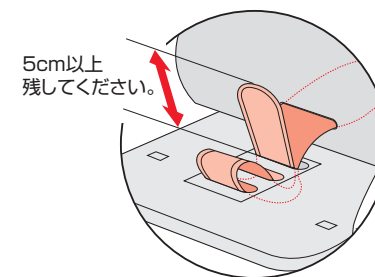


お子さまをシートに乗せて、腰ベルトに肩ベルトを差し込み、股ベルトにとめます。

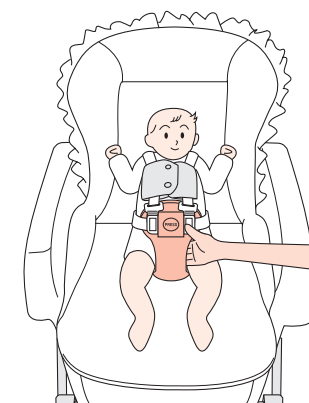


左右の肩ベルトカバーをとめます。

股ベルト

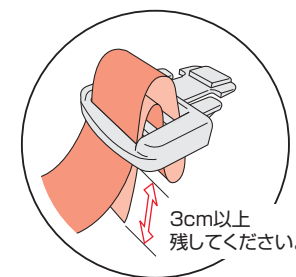


シートとクッションマットをめくって股ベルトの長さを調節します。

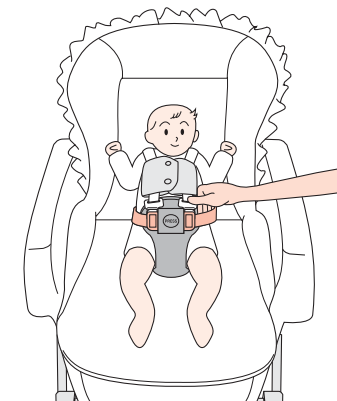


股ベルトの長さは、股ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

腰ベルト



腰ベルトの長さを調節します。



腰ベルトの長さは、腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

⚠ 警告

- ・お子さまが座高46cm(参考月齢18月)未満の時は、肩ベルト、肩ベルトカバーを外して使用しない。
- ・腰ベルト、股ベルトを外して使用しない。

⚠ 注意

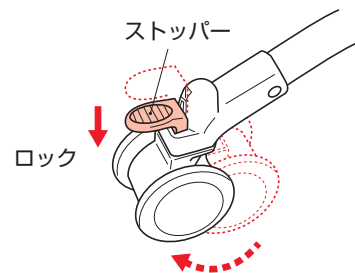
- ・シートベルトは、身体に合わせて必ず長さを調節する。
- ・肩ベルトカバーは、必ず左右のホックをとめて使用する。
- ・の股ベルトの出しろ(←→の部分)は必ず5cm以上残す。
- ・の腰ベルトの出しろ(←→の部分)は必ず3cm以上残す。

- ・肩ベルトを取り外して使用する場合も、同じ手順で装着してください。(「肩ベルトの収納方法」はP15を参照してください。)
- ・フルマール〈採用機種のみ〉をご使用になる場合も、同じ手順で装着してください。

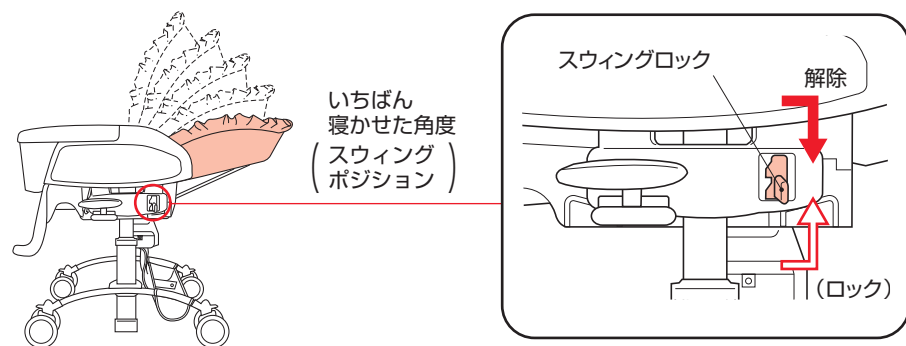
手動スウィングを使う時

手動スウィングの使い方

・衣服などを含めたお子さまの重量制限は9kg（約7月）です。



車輪のストッパーを4カ所ともロックします。



リクライニングをいちばん寝かせた角度（スウィングポジション）にしてお子さまを乗せシートベルトを正しく装着します。
左右のスウィングロックを後方に押しながら下げてロックを解除します。
手で本体部分を押し、前後ともに行き当たらない範囲でスウィングさせます。
・手動スウィングを使った後は、必ずスウィングロックをしてください。

お願い

・手動スウィング時に前後に行き当たった場合、電動スウィングの機構部がロックすることがあります。その場合は、お子さまをおろして電動スウィングを作動させると元に戻ります。（「電動スウィングの使い方」は22ページをご参照ください。）

警告

- ・スウィングポジション以外ではスウィングさせない。
- ・スウィングさせる時以外は、スウィングロックを解除しない。
- ・手動スウィング時は、前後に行き当たるまでスウィングさせない。前後に行き当たるとお子さまに衝撃が加わるおそれがあります。
- ・スウィング中は本体などで手、指などを挟まないように注意してください。

ご使用上の注意（電動スウィング及びメロディ機能を使う時）

警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

警告

	つぎのような場所では使用しない。 ・浴室など湿気の多い場所。 ・風雨にさらされる場所。 ・ほこりの多い場所。 ・強い磁気や振動の発生する場所。 ・多量の油分が飛散する場所	かんでん ろうでん しこ 感電や漏電による事故 や火災のおそれがあり ます。
	お子さまが電源コードをなめたり、引っ張ったりしないよう注意する。また使用しない時は電源コードをお子さまの手の届かないところに保管する。	
	電源プラグ部にゴミを付着させたまま使用しない。水を含むとショートして発火するおそれがあります。	
	座面や背もたれに水などがかった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、水分を拭き取る。また、座面の下に多量の水分が流れ込んだ場合は、使用を中止して当社サービス係に問い合わせる。	
	使用中に少しでも普段と変わった状態になった場合は、使用を中止しすぐにコンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店又は当社サービス係に点検・修理を依頼する。	

注 意

- ・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 注 意

- ・濡れた手で電源プラグやコネクターを触らない。感電のおそれがあります。
- ・電動スウィングの使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- ・タコ足配線をしない。
- ・電源プラグを抜く時はコード部を持たずに必ず電源プラグ部を持つ。
- ・電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったり、束ねたり、加工したりしない。
- ・電源コードの上には家具、電化製品、置物などの重い物をのせない。
- ・電源コードに外観上の損傷や接触不良などがある場合はすぐに使用を中止する。
- ・雷が発生している時は電源プラグをコンセントから抜く。
- ・家庭用電源／交流100V 以外には接続しない。
家庭用電源を使用する製品の誤使用は、火災や感電など重大な事故の原因となります。
- ・電源コードを使用しない時は、お子さまの手の届かないところに保管する。コードによる事故の危険があります。
- ・電源コードをとめている針金入りのテープは、お子さまの手の届かないところに捨てる。誤飲の危険があります。

禁止事項

- ・次のようなことは絶対にしないでください。

🚫 禁 止

- ・当社サービス員以外の分解・組立・改造。
火災、感電、けがの原因になります。
- ・お子さまだけの使用や、お子さまの手の届く所への放置。
感電、けがの原因になります。

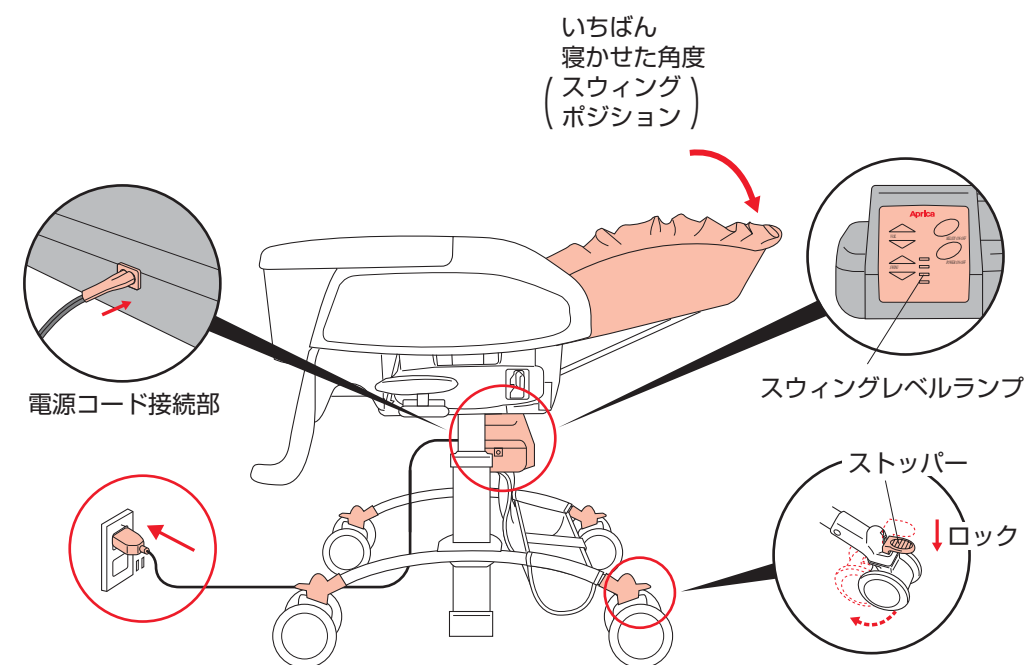
電動スウィング及びメロディ機能を使う時

電気仕様

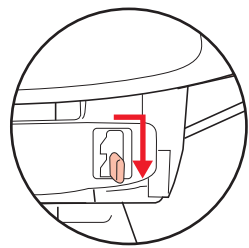
定格電圧……………AC100V	電流ヒューズ……………1A(125V)
定格周波数……………50/60Hz	メロディ出力……………8 W/0.5W
定格消費電力(最大)……………17W	

電動スウィングの使い方

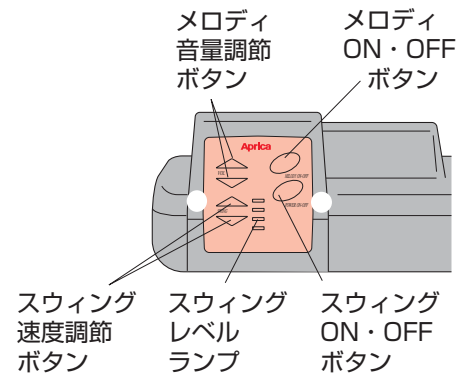
- ・衣服などを含めたお子さまの重量制限は8kg（約6月）です。
- ・約3分間で自動的に止まります。
- ・繰り返し使用する時は、お子さまの様子を確認してからスウィングON・OFFボタンを押してください。



車輪のストッパーを4カ所ともロックします。
電源コードのコネクターを電源コード接続部に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。
スウィングレベルランプが点灯していないことを確認します。
リクライニングをいちばん寝かせた角度（スウィングポジション）にしてお子さまを乗せ、シートベルトを正しく装着します。



スウィング レベル ランプ	衣服などを含めた お子さまの重量 (kg)					
	3	4	5	6	7	8
△						
△						
△						
△						
△						
△						



スウィングロックを後方に押しながら下げてロックを解除します。
スウィングON・OFFボタンを押します。(スタート時は最小の揺れに設定してあります。)
スウィングが始まったら、衣服などを含めたお子さまの重量を目安にお子さまの様子を見ながらスウィング速度調節ボタンで速度を調節します。 (「メロディ機能」を併用する場合は、24ページをご参照ください。)
・電動スウィングを使った後は、必ずスウィングロックをロックしてください。

お願い

- ・スウィングが強すぎると本体が前後に動くことがあります。その場合には、スウィング調節ボタンをマイナス方向に調節してください。
- ・スウィングを弱にしても本体が動く場合は車輪の外周を水でうすめた中性洗剤を布に含ませて汚れを拭き取ってください。
- ・やわらかい床面上で電動スウィングを使用すると、車体が不安定となり、正常に作動しないおそれがあります。フローリングなどのかたい床面上で使用してください。

警告

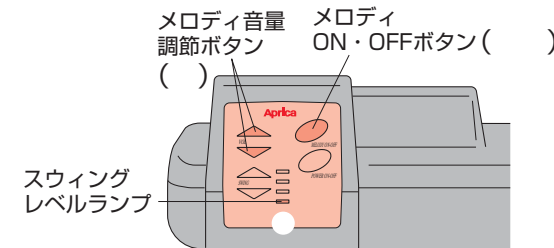
- ・スウィングポジション以外でスウィングさせない。
- ・お子さまの様子がおかしいと感じたら、すぐにスウィングを停止させる。
- ・スウィングさせる時以外は、スウィングロックを解除しない。
- ・スウィング中は本体などで手、指などを挟まないように注意してください。



注意

- ・衣服などを含めた重量が8kg以上のお子さまで使用しない。故障の原因になります。

メロディ機能の使い方



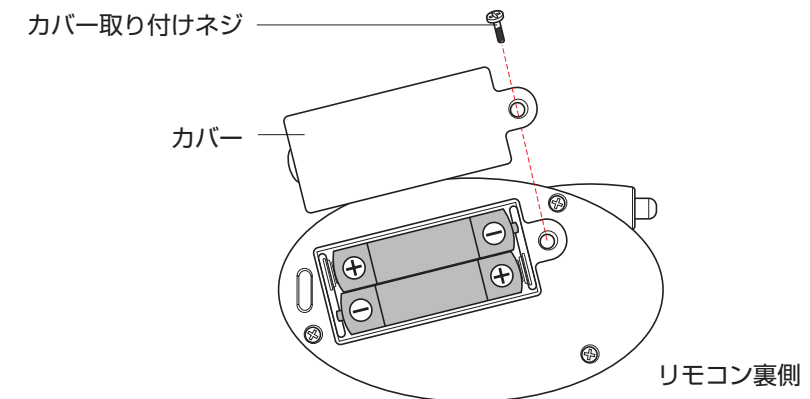
- 曲目
- ① 赤い河の谷間
 - ② かっこう
 - ③ キラキラ星
 - ④ 峠の我が家
 - ⑤ 茶色い小ビン
 - ⑥ アーユー スリーパー
 - ⑦ メリーさんの羊
 - ⑧ どんぐりころころ

- ① 電源コードのコンネクターを電源コード接続部に、電源プラグをコンセントに差し込み、スウィングレベルランプが点灯していないことを確認します。
 - ② メロディON・OFFボタンを押します。(スタート時は最小の音量に設定してあります。)
 - ③ メロディ音量調節ボタンで音量を調節します。
 - ④ メロディを止める時は、ON・OFFボタンを押します。
 - ・音量はお子さまに不快感を与えないように、様子を見ながら調節してください。
 - ・再びメロディON・OFFボタンを押すと、前回使用時の次曲からスタートします。(但し、電源プラグを抜いた場合、1曲目からスタートします。)
- (「電動スウィング」と併用する場合は22ページをご参照ください。)

リモコンの使い方

- ・製品には乾電池は付属しておりませんので、別途ご購入ください。

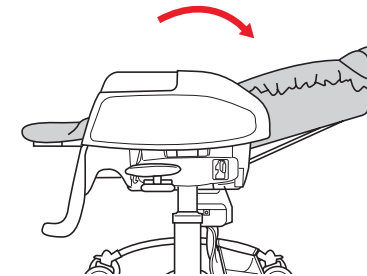
〈乾電池の入れ方〉



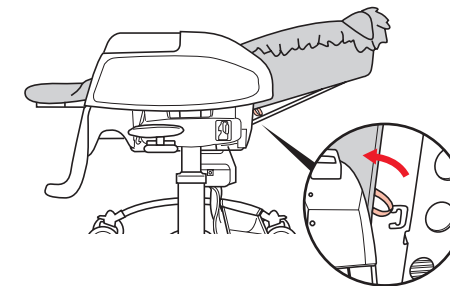
- リモコン裏側のカバー取り付けネジをプラスドライバーでゆるめてカバーを取り外します。
単4乾電池2本を入れます。(プラス・マイナスをまちがえないでください。)
カバーを取り付け、ネジをしめます。
・2本とも同じ種類の新しい乾電池をお使いください。
・長い間使用しない時は、乾電池を取り出しておいてください。(液もれするおそれがあります。)

日常のお手入れ

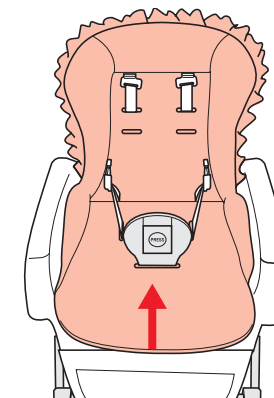
シートの取り外し方



リクライニングをいちばん寝かせた角度まで倒します。



左右のゴムベルトを外します。

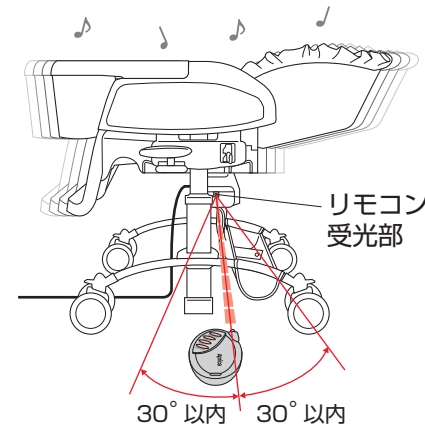
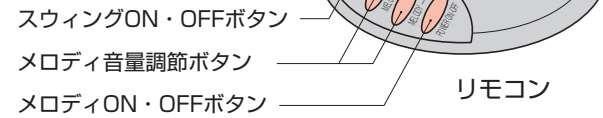


シートから肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを抜き、シートを持ち上げて取り外します。

⚠ 注意

- ・シートを外した状態で使用しない。
- ・クッションは外さない。

・取り付ける時は、逆の手順で行ってください。



リモコン受光部

30° 以内 30° 以内

〈電動スウィングの操作方法〉

- ・23ページの「電動スウィングの使い方」の をリモコンで操作することができます。
リモコンのON・OFFボタンを押します。

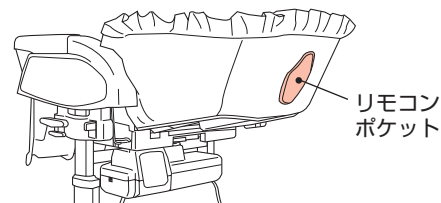
〈メロディ機能の操作方法〉

- ・24ページの「メロディ機能の使い方」の 、 をリモコンで操作することができます。
リモコンのメロディ音量調節ボタンで音量を調節します。
リモコンのメロディON・OFFボタンを押します。

〈リモコンの操作ができない時は〉

- ・リモコン受光部に近づき、リモコンのボタンを少し長めに押してみても操作できないようであれば乾電池が消耗していますので交換してください。
- ・乾電池を交換しても操作できない場合は、販売店か、当社サービス係までご連絡ください。

〈リモコンの保管場所〉



リモコンポケット

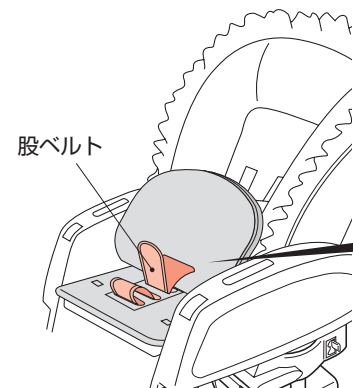
- ・リモコンを使用しない時は、シートのリモコンポケットに保管できます。

故障かなと思ったら…

- ・スウィングしない時、またメロディの音がでない時には
 - ・電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれているか
 - ・電源コードのコネクターが本体に接続されているかをご確認ください。
 差し込まれていなかったり、接続されていない場合は差し込んだ後で再度操作を行ってください。
- ・部屋の温度が低いと、本体の温度も低くなり、スウィング速度が遅くなる事があります。電動部の構造、性質によるもので故障ではありません。部屋を温め、本体も温まったことを確認し、ご使用ください。

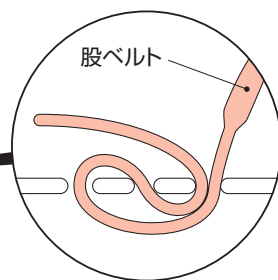
股ベルトの取り付け、取り外し方

〈取り外し方〉

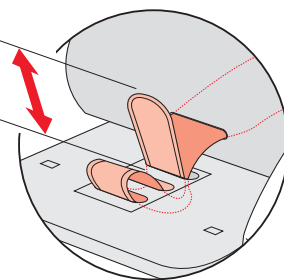


●股ベルトをゆるめて穴から抜き取ります。

〈取り付け方〉



5cm
以上

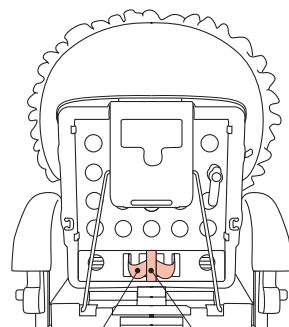


⚠ 注意

・股ベルトの出しろ（ $\longleftrightarrow$ の部分）は必ず5cm以上残す。

腰ベルトの取り付け、取り外し方

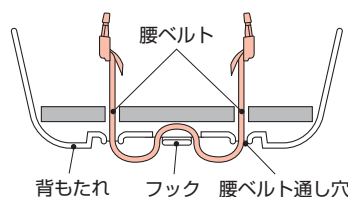
〈取り外し方〉



腰ベルト フック

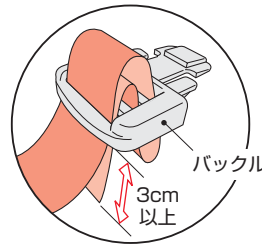
腰ベルトを背もたれの腰ベルト通し穴から抜き取り、フックから外します。腰ベルトのバックルを取り外します。

上から見た状態



背もたれ フック 腰ベルト通し穴

〈取り付け方〉



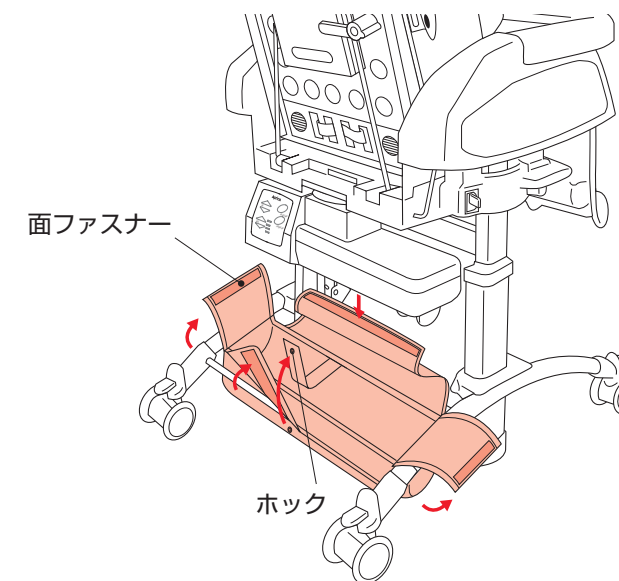
バックル

取り付ける時は、背もたれに通してからフックに引っかけてロックしてください。バックルの表裏に注意してください。

⚠ 注意

・股ベルトの出しろ（ $\longleftrightarrow$ の部分）は必ず3cm以上残す。

カゴの取り外し方



●中央のベルトのフックを外し、フレームに巻き付けてある部分と電動ユニットにとめてある部分の面ファスナーを外します。

縫製品のお手入れ方法



カゴのお手入れ方法

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉

40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。

〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉

中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

本体のお手入れ方法

・汚れは、水にひたして固く絞った布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤で拭き取った後、乾いた布で仕上げてください。

フレームのお手入れ方法

- ・フレームについたホコリなどは、そのまま放置しないで必ず拭き取ってください。拭き取りにはよく絞ったぬれタオルを使用してください。



注意

- ・拭き取りには、シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤を使用しないでください。

車輪のお手入れ方法

- ・車輪の汚れがひどいときには、中性洗剤で拭き取ります。その後、よく絞ったぬれタオルで仕上げてください。



注意

- ・シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤を使用しないでください。
- ・車輪の汚れがひどいと、床面上ですべる場合があります。

保証とアフターサービスについて

- ・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社サービス係までご連絡ください。
- ・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、ご購入日より4年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221 奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター ☎ (0743) 84-2050

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
（地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。）

SGマークについて



SGマークが表示されたハイローベッド&チェアは安心してお使いいただけます。

SGマークが表示されたハイローベッド&チェアは安心してお使いになれますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。**但しご購入後4年以内です。**

賠償についてのご注意

- ・認定したハイローベッド&チェアそのものが故障したとしても、その品質について保証するということではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- ・生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について

- ・傷害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する処に届けて下さい。

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3303

事故賠償に必要な項目

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ) 製品の名前、SGマーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
イ) 被害者の氏名、年令、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度（医師の証明書）

保管のしかた

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
- ・荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。